

三陸・大船渡第29回  
つばきまつり  
フォトコンテスト

結果発表!

募集期間

令和8年

1/25(日)～3/22(日)

テーマ

『つばきと共に過ごすひととき』



たくさんのご応募をいただき、  
誠にありがとうございました。

素晴らしい作品の中から、

**グランプリ1点**  
**準グランプリ2点**  
**審査員特別賞3点**

選出しました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

## 総評

今年もつばきまつりフォトコンテストに沢山の作品の応募をいただき有り難うございます。お陰様で「三陸・大船渡第29回つばきまつりフォトコンテスト」審査を終えることが出来ました。

応募数も年々増え、訪れた観光客の方々もとても多く、大船渡市以外からの応募も増えています。つばきまつりフォトコンテストは今年で29回目を迎え、作品点数が毎年増えています。

今年は第36回全国椿サミット大船渡大会が市内で開催され、それにあわせて昨年までコンテストで受賞した作品がオリジナルフレーム切手「全国椿サミット大船渡大会」になるなど、大船渡市はつばきの街として盛り上がっています。

今年も優秀作品が沢山集まりました。年々質の高い作品が多くなり、審査員をうならせる作品が増えています。

来年は記念すべき第30回になりますので、市民の皆さんと一緒に全国に大船渡のつばきを発信していくためにも、沢山の応募をお待ちしております。

審査委員長

かとうまさゆき写真事務所  
かとう まさゆき

## グランプリ



### 安らぎ

佐藤 圭さん

親子でつなぐ手に、ツバキの控えめな優しさと子を思う親のやさしさが重なった気がしました。

子どもの小さな手を優しく包み込むようにしながら、世界の椿館の椿を親子で楽しんでいる様子を表現した「安らぎ」は、親子の絆を感じるとても表現のよい作品です。手をつないだ親子のその先に椿の花が咲き誇っています。今年のテーマである「つばきと共に過ごすひととき」を見事に表現しています。この作品は、親の手の温もりを感じながら小さな子どもと一緒に椿を楽しんでいる様子が作品から見えてきます。この作品からは親子の絆と「安らぎ」が伝わってくる素晴らしい作品になっています。



## 恋人待つ（プロポーズ前）

小山 政和さん

プロポーズを待つ緊張感（高揚感）を表現しました。  
結婚指輪とともに、椿の花束をプレゼントします。

この作品はベンチの片隅に置かれた椿の花が、きっと恋人を来るのを待ち望んでいるという思いを込めた作品で、作品名の「恋人待つ」からその思いが伝わってきます。椿の花とベンチの肘掛けに日があたり日差しをいっぱい浴びていますが、ベンチの奥は暗くなっています。しかし、一カ所だけ恋人を待つかのように明るい部分があるので、作者の思いが作品となっている素晴らしい作品です。

## 準グランプリ



# 移ろう春

村上 真さん

木漏れ日の中に落ちた椿の花と夕陽に照らされた桜の花、  
静かな季節の移ろいを感じる春のひととき。

椿の花の寿命は1～2週間ほどで命尽き、花ごと地面へと落ちてしまいます。地面に落ちた赤い椿の花に命を吹き込むように可憐な赤い花を見事に表現しています。この時間帯だけ地面に落ちた椿の花に光が差し込むことを熟知した上で、椿の花に光をあてている素晴らしい作品です。この作品は表現や構成など質感描写の素晴らしい作品になっています。

## 審査員特別賞



### なかよしは 花より会話 さきみだれ...

齋藤 満さん

遠く離れた友人と3年ぶりの再会。美しい花椿をみながら二人の話にも花が咲きます。

コメントには3年ぶりの友人との再会とあり、両サイドの女性たちの笑顔の表現が素敵です。その真ん中の椿の川が再会を祝福するような表現の素晴らしい作品になっています。二人の笑顔が友との再開のすべてを物語っていますね。

## 審査員特別賞



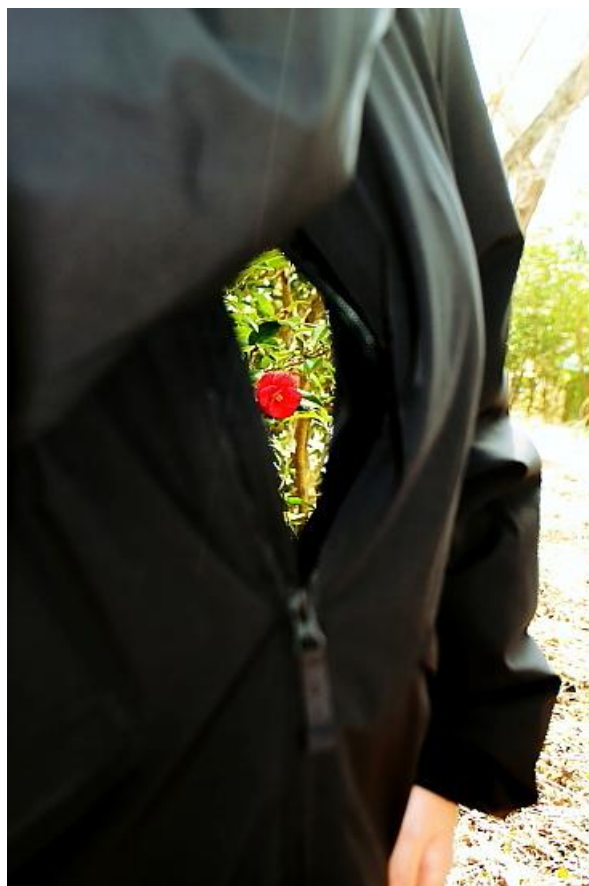
# Heaven

小笠原 大介さん

光の差し込みを活かし光と影のコントラストを表現しました。楽園のようなスポットです。

無機質な色合いで世界の椿館を表現した作品ですが、周りの椿を暗い色合いにして、画面中央を明るくしているの小さなベルとその下側のハートを見入ってしまいます。宇宙船の中で天国に出会ったように見える素晴らしい作品になっています。

## 審査員特別賞



# 心に椿

和泉 智也さん

椿がいつもそばにいることを表現しました。

---

何か変わった表現をしたかったのでしょうか。黒い服の中に鏡を忍ばせ、椿の赤い花を強調した表現の素晴らしい作品です。この作品は作者のアイデアがいかされています。このアイデアによって、ひと味違った楽しい作品になっています。